

各 位

本社所在地 東京都港区高輪 2-18-10  
会社名 **レカムホールディングス株式会社**  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 秀博  
(コード番号: 3323 大証 JASDAQ S)  
問合せ先 取締役常務執行役員経営管理本部長  
川畑 大輔  
(TEL: 03-6275-0700)  
(URL <http://www.recomm.co.jp>)

## 特別利益および特別損失の計上ならびに

## 平成 24 年 9 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 9 月期第 2 四半期（累計）において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上する必要が生じ、また、平成 23 年 11 月 11 日に公表した平成 24 年 9 月期第 2 四半期（累計）の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## I. 特別利益および特別損失の計上について

## 1. 特別利益の内容

平成 24 年 9 月期第 2 四半期（累計）	特別利益の総額	25,628 千円
（その内訳）	関係会社株式売却益	17,487 千円
	受取和解金	4,720 千円
	新株予約権戻入益	571 千円
	その他	2,847 千円

## 2. 特別損失の内容

平成 24 年 9 月期第 2 四半期（累計）	特別損失の総額	13,165 千円
（その内訳）	債務保証損失引当金繰入額	7,367 千円
	損害賠償金	2,025 千円
	債務保証損失	1,456 千円
	その他	2,316 千円

## 3. 計上に至った経緯

- ①関係会社株式売却益につきましては、当社子会社であった W i z B i z 株式会社の当社保有株式のすべてを、MBO（マネジメント・バイアウト）方式により、新谷株式会社へ譲渡したことによる連結決算上の売却益になります。
- ②受取和解金につきましては、当社子会社が取引先から受領いたしました問題解決の和解金であります。
- ③新株予約権戻入益につきましては、付与対象者の権利喪失（退職等）による戻入益であります。
- ④債務保証損失引当金繰入額につきましては、当社子会社のリース会社等に対する債務保証額のうち、顧客の信用状況等を考慮した損失見込額を引当金として計上したものであります。
- ⑤損害賠償金につきましては、当社子会社が取引先へ支払った問題解決の賠償金であります。

⑥債務保証損失につきましては、当社子会社が債務者に代わってリース会社等へ支払った損害金であります。

## II. 業績予想と実績との差異

### 1. 平成24年9月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異 （平成23年10月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想（A）	2,471	40	33	15	円 銭 67.43
実績（B）	2,237	25	17	11	51.20
増減額（B－A）	△234	△15	△16	△4	
増減率（％）	△9.5	△37.5	△48.5	△26.7	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年9月期第2四半期）	2,559	0	△9	△12	△54.20

### 2. 差異の生じた理由

#### （1）売上高

第2四半期（累計）における売上高は、前回発表予想の2,471百万円から234百万円減額した2,237百万円となりました。その主たる要因といたしましては、情報通信機器販売事業の売上高が計画に対して90.5%にとどまったことによるものであります。これは、採用活動が計画どおりに進まず、直営店の営業人員が減少したこと、フランチャイズ加盟店の既存店の売上高が低迷したことが影響しております。また、コールセンター事業において案件の失注があったことと、大型案件の稼働が第3四半期以降となったことも影響しております。

#### （2）営業利益、経常利益、四半期純利益

第2四半期（累計）における営業利益につきましては、直営店の生産性向上によって販売事業の売上総利益は売上計画の未達成分をほぼ補うことができましたが、①第1四半期に予定しておりましたメーカーからの報奨金の獲得が当初の予定を下回ったこと、②コールセンター事業において大型案件の稼働が第3四半期以降になったことにより立ち上げコストが発生したこと、③第1四半期のW i z B i z 事業の赤字などが影響し、販売管理費の伸びを徹底的に抑えたものの、前回発表予想の40百万円に対して15百万円下回る25百万円となりました。また、経常利益につきましても同様の理由により、前回発表予想の33百万円に対して16百万円下回る17百万円となりました。四半期純利益につきましては、特別利益としてMBO方式によるW i z B i z 株式会社の株式売却益17百万円の計上などがあったものの、経常利益が計画を下回っていることから、前回発表予想の15百万円に対して4百万円下回る11百万円となりました。

### 3. 通期の業績予想について

通期連結業績予想につきましては、①情報通信機器販売事業において、新卒採用を中心とした人員増による規模拡大が見込めることや直営店において当初想定以上に営業生産性が向上していること、②コールセンターの大口案件の稼働が本格化すること、③BPO事業において、グループ外からの新規案件が増加していることなどから、W i z B i z 事業のマイナスを含む上半期の未達分を含め、当初の計画どおりの売上高ならびに利益を計上できるものと見込んでおり、現時点で、平成23年11月11日に発表いたしました通期連結業績予想は据え置くことといたします。

以 上

(ご参考)

平成 24 年 9 月期通期連結業績予想 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想	5,162	130	120	70	円 銭 313.94
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 9 月期)	4,990	23	8	14	62.98

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。